

	小中学校長会役員	現場教職員代表	P T A連合会本部役員	幼稚園長会役員
1 教職員の意識改革の推進	<p><b>① 期待される教員の姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の意識改革が非常に大事</li> <li>・教員が自分の力を十分発揮でき、やる気に満ちあふれる環境づくり</li> <li>・学校が一丸となるため、対話と協働を大切に組織づくり</li> <li>・教職員の円滑な関係によるチーム学校により、子どもたちと向き合う時間が増えるのでは</li> </ul> <p><b>③ 人的支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の本来すべきところ以外のところをどう軽減していくかを考えていくべきでは</li> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、市教委を含め、チーム学校を支えるチームの一員として取り組んでいければ</li> <li>・一定の役割分担、機能分担により先生が授業に専念でき、働きやすい環境をつくるのが大事</li> </ul> <p><b>④ 効率的・効果的な学校運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT化など、なるべく省略できることは進めていくべきでは</li> </ul> <p><b>⑥ 部活動の適正な運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活の指導や学力の指導、そして、子どもも見たいが、時間が足りない</li> </ul>	<p><b>① 期待される教員の姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書等の活用で、教育効果が上がるのであれば、使用していきたい</li> </ul> <p><b>③ 人的支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと向き合う時間、保護者に寄り添う時間は非常に大事</li> <li>・教員支援員が配置された学校は、子どもと向き合う時間の確保ができ、とても助かっており、心のゆとりも生まれ、ありがたい。小規模校でも、空き時間がないので、配置いただき助かっている</li> <li>・教員支援員の方から、先生はパソコンの入力をしつつ、子どもの様子もみなければならず、多くのことをやっているの、大したものだとの感想をいただいております、細かな作業等はどんどん仕事を頼んでいただければと言っている</li> <li>・教員支援員の方は、複数校勤務のため勤務日数が週2回ほどであり、業務を頼むタイミングが合わないこともあるので、毎日来ていただければ助かる</li> <li>・教員支援員の方に仕事を頼んでいる教員は、仕事の見通しをもって業務をしている教員が多い</li> </ul> <p><b>⑤ 特別な支援が必要な子どもたちへの支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に寝転ぶ子どもや、日本語が全くできない子など、支援を要する子どもは多く、1人でも多くの支援員を配置していただきたい</li> </ul> <p><b>⑥ 部活動の適正な運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員が配置されていると、職員会議等があっても子どもたちを見ていただけるため、ケガ等を防ぐなどの安全を確保でき、技術的な指導を含め、助かっている</li> <li>・専門でないが仕方なくクラブを受け持つ場合があったが、今、部活動指導員を配置していただいております、現場はとても助かっており、他校も望んでいるのでは</li> <li>・部活動指導員を配置いただいております、普段部活に行く時間を、自分の仕事に充てることができ、助かっている</li> </ul>	<p><b>② 授業力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に成果が見られる学校とそうでない学校があり、頑張ってください</li> </ul> <p><b>③ 人的支援の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちと向き合う時間を先生が持つためには、人員の増員は必要不可欠だと思う</li> <li>・先生の仕事量は学校の規模にかかわらず変わらないが、教員支援員等のサポートは、小規模校にはあまりない</li> </ul> <p><b>④ 効率的・効果的な学校運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT化は、避けられないところではないか</li> </ul> <p><b>⑥ 部活動の適正な運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部指導員により、先生が体を休めたり、プライベートの時間を大事にしたりできたら、リフレッシュして、次の日の仕事に行こうという意識へとつながるのでは</li> </ul>	
2 組織体制の構築の推進	<p><b>① 校長のマネジメントによる組織体制の構築【新規】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の長の上手な運営により、属する教職員が最大のパフォーマンスにより活躍する</li> <li>・マネジメント部分と教育組織の部門は分化するべきで、横のつながりでの連携による情報共有が大事であり、また、校長のリーダーシップが組織として大事で、学校全体のあり方に大きく関係</li> <li>・先生がやる気を出す環境をつくるのは、校長先生で、まさに経営力ではないか</li> <li>・ミドルリーダーが組織として非常に大事な柱</li> <li>・校長の意図を汲むミドルリーダーを育てるのが大事</li> <li>・管理職を支える意味でも、マネジメントができる管理スタッフをつくるのが大事</li> <li>・チームとしての学校づくりを推進していくのが求められている</li> <li>・校長先生の信念、思いで組織を運営することが第一で、リーダーシップを発揮していただきたい</li> <li>・ミドルリーダー、ニューリーダーを育てていくのが大事・自分の学校の現状が、こんな状況だから、このようにしていきましょうというような建設的な意見を管理職が出させて実践していくことが大事</li> <li>・自分の学校の現状が、こんな状況だから、このようにしていきましょうというような建設的な意見を管理職が出させて実践していくことが大事</li> </ul> <p><b>③ 地域とともにある学校経営の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知・徳・体を育てるには、地域の力も必要である</li> <li>・組織的・機動的な学校経営に加え、地域も取り組んでいく必要があるのでは</li> </ul>	<p><b>② 安心して学べる学校づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士との協定を活用して、コンプライアンス研修などに活かしていきたい</li> </ul>	<p><b>③ 地域とともにある学校経営の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、親、P T Aが横につながり、組織として学校の運営に携わっていくのが大事</li> <li>・教育は、学校教育だけでなく、地域で教えてもらうこととか、家庭でどう子どもと接するかかのソフト面が複合的に絡んで、教育環境の整備が図られると思う</li> </ul>	

	小中学校長会役員	現場教職員代表	P T A連合会本部役員	幼稚園長会役員
3 未来へとつながる教育・子育て環境の整備	<p>① 学校施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンやトイレの環境整備が進んでおり、I C Tも含め、その学校資源をフル活用する必要がある</li> </ul> <p>③ 登下校時の子どもたちの安全安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育力を活用するところで、子ども見守り隊が組織されているのは、すごく助かっている</li> </ul>		<p>① 学校施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室にエアコンを設置していただき、安心したところもあり、そのような情報を流していただきたい</li> </ul>	<p>⑤ 幼稚園の再編と幼児教育の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園については、幼保人事交流、こども園検討会議などの研修の積み重ねや、幼保が話し合い、理解を深めることで、学びにつながっている</li> <li>・津市立幼稚園の現状は、園児数の減少・小規模園の増加など大変難しく、10月より幼児教育・保育の無償化も始まる中で、3歳児保育・給食実施・預かり保育などの保護者ニーズを考えると、津市立幼稚園の状況はますます厳しくなる</li> <li>・無償化による園児数の動向を踏まえると、今現在の幼稚園数を残していくことではないと思っており、3歳児保育・給食・預かり保育を適正規模・適正配置の中で実施し、運営していきたいと思う</li> <li>・津市立幼稚園で長年積み上げてきた遊びを通した総合的な発達・深い学びを立証するために、適正規模・適正配置を基盤として、津市全体の保育の質の向上を図っていきたい</li> <li>・特別支援教育に特化した園、地域連携型の園を作りたいという意見もあり、研究園として、質の高い幼児教育及び職員育成を進め、津市の乳幼児教育を発信し更なる幼児教育の充実を進めていきたい</li> <li>・近年急速に増えている外国に繋がる子どもの受け入れは、外国の文化や言葉に触れることを通して、相手を理解したり国際感覚を身につけたりする大切な教育である</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織として動くためには、適材適所が必要である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書だけでは伝えられないこともあるので、体育の実技や道徳の講話などタブレット等を使って動画を見せることにより、授業が効果的になると思う</li> <li>・自分のパソコンを教室に持って外国語の授業を行っているが、各教室にパソコンが設置されていれば有り難い</li> <li>・外国語教育は、発音等を含め教員が勉強していかなければならない状況であり、英語が堪能な方を採用していただきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ仕事をしているのに、教員それぞれで負担が違うこともあるので、教員同士が協力して、一人一人の負担を減らすべきでは</li> <li>・連絡帳やノートなどのやりとりについて、さらなる活用ができるのでは</li> <li>・授業時間を確保しなければならないのであれば、エアコンも設置されたこともあり、夏休みを短くして対応すればいいのでは</li> <li>・今取り組んでいる内容や課題に対する費用対効果が大事で、また、先生の評価がなくては効果が出るものではない</li> </ul>	